

第4回 五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会のまとめ

■当委員会の目的と流れ

目的	「住んでよかった、住みたいまち五泉」の実現に向けて、人口減少対策を含めた地方創生に関する計画に対し、市民・各界の代表として検討を行うこと。
検討内容	①五泉の強み・弱み・まちづくりの方向性 (6/16)
・	②将来展望・基本目標(案)・施策の方向性 (7/28)
・	③将来都市像・施策・事業・指標 (9/4)
流れ	④戦略の全体素案の確認、今後に向けた取組 (9/30)

■開催概要

日時	平成 27 年 9 月 30 日 (水) 14:00~16:00
会場	五泉市福祉会館3F 大会議室
参加委員	15名(産学官金労言の各分野計20名構成)
説明内容	①前回のふりかえり ②将来都市像について ③総合戦略の全体素案について
意見交換	将来都市像、全体素案について、その他

■実施状況



意見交換の様子

■意見交換の結果





これまでの検討結果を踏まえてまとめた「五泉市人口ビジョン・総合戦略」の素案についてのご意見の他、最終の委員会ということで、委員会に参加しての感想や、今後の取組に向けての提案、抱負などを一人ずつ述べていただきました。

<総合戦略の全体素案について>

計画全体に対するご意見等

- 人口減少は全国的な課題であり、今後は同じ状況下で自治体間での競争となるため、五泉市らしい施策展開が必要。
- 多くの業界や市民など全てが連携し、「オール五泉」で取り組んでいくことが大事。
- 官民それぞれの得意分野を活かした一体的な取組が望ましい。
- 民間主導で行政がバックアップする体制が望ましい。
- 様々な計画を関係者間で連携・整合して行うべきである。また、財政的な面から、成果のあがらないものは思い切って除外することも必要。
- PDCAの状況は公開すべき。
- PDCAのうち、特にA(見極めた上での再始動)が重要。
- 様々な事業が掲載されているが、事業実施に際して県としても協力していきたい。
- 委員には五泉応援団のつもりで、これからも関わり、五泉の発展を願ってほしい。



基本目標	ご意見等
I 未来世代を守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達がずっと住み続けられるよう、未来世代を意識してほしい。 ●青年会議所としては、自分たちの商売はもとより、イベントを開催して子ども達に喜んでもらうなど貢献したい。 
II 産業の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少対策として、特に若者の定着のためには、職場(大企業等)の誘致などによって雇用の場を確保することが重要である。 ●ニット組合でブランド化事業を進めている。個々の取組の連携が大事である。 ●農産物の加工場が市内に必要。新大農場で動物(ヤギやヒツジ)との交流の場を併設し、毛刈りでニット用の羊毛を調達するなど、既存の資源をつなげたい。 ●マーケティングの特に出口の部分(販売)が重要である。 ●民と官の間が連携する機会を増やしてほしい。 
III 五泉の魅力をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ●車対応の観光ばかりでなく、鉄道で訪れる観光客のための観光地巡りや土産物売場の整備が必要である。 ●この戦略自体の積極的なPRが必要である。 ●観光協会としては、観光面での宣伝は特に重要と感じる。資源はたくさんあってもそれらが整備されていない。 ●宣伝広告は費用がかかるが、宣伝しないと集客効果が薄れ、利益も生まれない。宣伝によって集客が高まり、利益が上がり、より宣伝に力を入れていくといった、好循環の仕組みづくりが必要である。 ●広報戦略は全分野に共通して必要である。各事業の実施と並行して進めるよう意識することが大切。 
IV 確かな暮らしを充たす	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者にとっても、希望がもてるような変化に期待する。 

<今後の予定>

- 10月2日 第4回総合戦略推進本部
- 10月6日~26日 パブリックコメント
- 10月末 人口ビジョン・総合戦略 策定完了

総合戦略は、市の方向性を示す大きな計画であり、長いチャレンジの一步を踏み出すことになります。
今後の戦略推進にあたっては、引き続き市民検討委員会によるPDCAサイクルの検証・評価を行い、より良い実践につなげていきます。

